

## 福島県の被害状況

### 地震・津波被害

浜通りを中心に甚大な被害【死者4,105人】 内陸部も倒壊家屋多数

#### ◆福島県内の被害状況

【令和元年7月5日現在】

##### 【人的被害】

死者:4,105人  
(うち、震災関連死※2,275人)  
行方不明者:1人

※震災関連死とは地震などの直接的な被害によるものではなく、その後の避難生活での体調悪化や過労など間接的な原因で死亡すること。

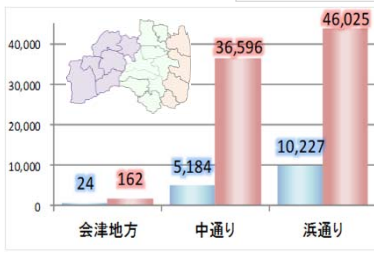


津波に襲われる四倉湾

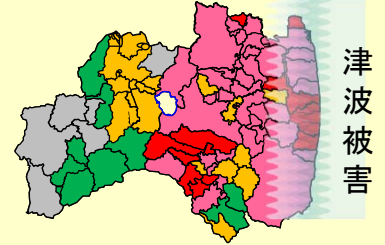
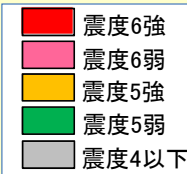
##### 【家屋被害の状況】

全壊	15,435棟
半壊	82,783棟

##### <県内3地方内訳>



#### ◆県内各地の震度



津波被害

#### ◆災害廃棄物の処理状況 【令和元年5月末現在】

【国が行っている災害廃棄物処理の様子】



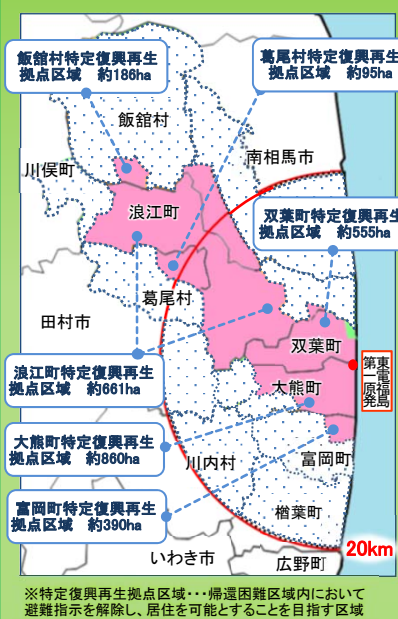
○市町村が処理を行う地域  
処理量 304万トン  
(全て終了)

○国が処理を行う地域  
処理量 192万トン  
(継続中)

### 避難等の状況

令和元年7月現在の避難者数42,705人【県内11,084人 / 県外31,608人】

#### ◆避難指示区域MAP

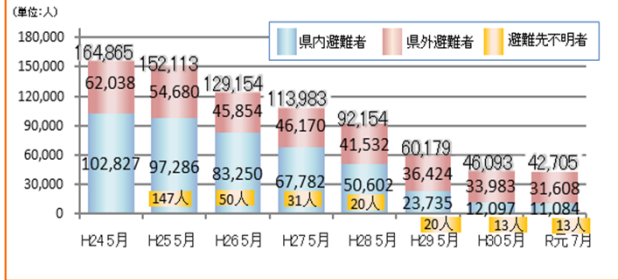


#### 【避難指示区域解除状況】

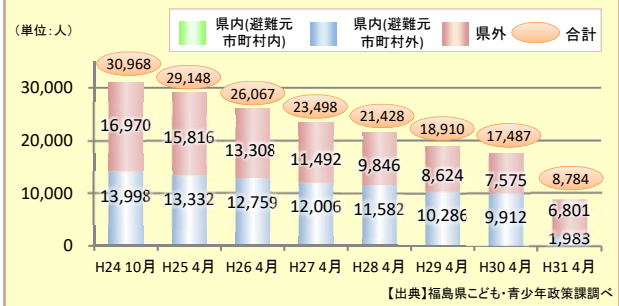
年月日	市町村	解除状況
平成26年 4月1日	田村市 都路地区	・避難指示解除準備区域解除
平成26年 10月1日	川内村	・避難指示解除準備区域解除 ・居住制限区域を避難指示解除準備区域に再編
平成27年 9月5日	楢葉町	・避難指示解除準備区域解除
平成28年 6月12日	葛尾村	・居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
平成28年 6月14日	川内村	・避難指示解除準備区域解除
平成28年 7月12日	南相馬市 川俣町	・居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
平成29年 3月31日	浪江町 飯館村 富岡町	・居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
平成31年 4月10日	大熊町	・居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除

● 帰還困難区域 ・年間積算線量20mSv以上超 立ち入り原則禁止 ・宿泊禁止  
● 避難指示解除準備区域 ・年間積算線量20mSv以下 ・立ち入り可、非業活動可 ・宿泊原則禁止  
● 避難指示が解除された区域

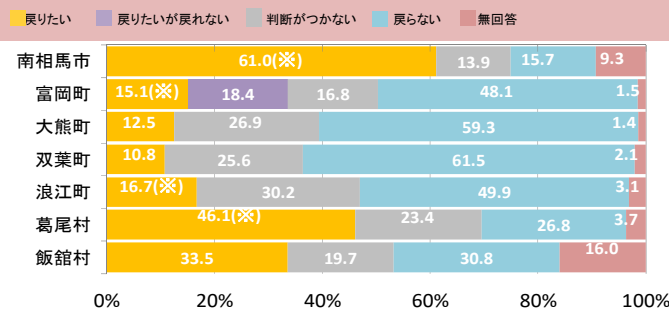
#### ◆避難者の推移



#### ◆避難者のうち18歳未満のこどもの内訳(避難先別)



#### ◆復興庁・県・市町村による 住民帰還意向調査結果



【調査年度】平成30年度(富岡町、双葉町、浪江町、葛尾村)平成29年度(大熊町)平成28年度(南相馬市、飯館村)平成27年度(田村市) (※)すでに戻られている方含む

#### ◆福島県の人口の推移

	世帯数 (単位:世帯)	人口 (単位:人)	男性	女性
平成23年3月	721,535	2,024,401	982,427	1,041,974
令和元年6月	751,686	1,848,257	915,366	932,891
増減	30,151	▲176,144	▲67,061	▲109,083

【出典】福島県の推計人口(福島県現住人口調査月報)

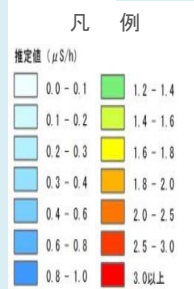
# 福島県の主な取組状況

## 環境回復

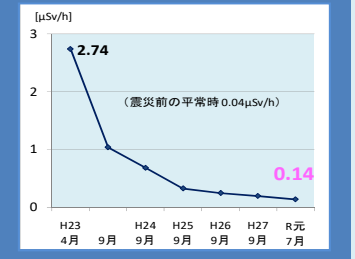
県内の空間放射線量は大幅に減少～帰還困難区域を除き、面的除染は終了

### ◆福島県内の空間線量の推移

【帰還困難区域で走行サーベイを実施】



### ◆福島市の放射線量の推移



### ◆市町村除染地域における除染実績

【平成30年3月末時点】



### ◆環境創造センターと附属施設

環境の回復に向け、モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・研修・交流を行う総合的な拠点施設。



猪苗代水環境センター  
猪苗代湖・妻磐梯湖沼群の調査研究・環境学習・普及啓発等  
猪苗代町



野生生物共生センター  
野生生物の調査研究・環境学習・普及啓発等  
大玉村



環境放射線センター  
原子力発電所周辺のモニタリング常時監視  
南相馬市



【環境創造センター】  
360度全方位に映し出される映像を体験できます。

## 健康調査

将来にわたり健康を見守る～県民健康調査を実施

### ◆甲状腺検査

【平成31年3月末時点】

震災時18歳以下等の子ども約38万人を対象→先行検査は約30万人が受診。平成26年度から本格検査を実施中

検査結果	判定区分	判定内容	先行検査		本格検査 (検査2回目)		本格検査 (検査3回目)		本格検査 (検査4回目)	
			人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
A判定	A1	結節や嚢(のう)胞なし	154,605	99.2	108,718	99.2	76,327	99.3	31,022	99.3
	A2	5.0mm以下結節や20.0mm以下の嚢(のう)胞	143,573		159,584		139,870		58,194	
B判定		5.1mm以上結節や20.1mm以上の嚢(のう)胞	2,293	0.8	2,227	0.8	1,490	0.7	591	0.7
C判定		直ちに二次検査を要するもの	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

※先行検査:平成23～25年度、本格検査:検査2回目平成26,27年度、検査3回目平成28,29年度、検査4回目平成30年度～

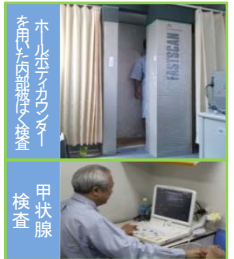
### ◆内部被ばく検査

【平成23年6月～平成31年3月】

預託実効線量*		人数 (人)
1mSv未満		338,778
1mSv		14
2mSv		10
3mSv		2

※概ね一生涯に体内から受けると思われる内部被ばく量

県実施分の累計検査人数 338,804人



## 住環境整備

復興公営住宅等を整備～原発避難者向け4,890戸整備予定

### ◆復興公営住宅等の整備状況

【令和元年5月末現在】

区分	整備予定	対象者	完成戸数
地震・津波被災者向け	11市町村 2,807戸 (平成29年度完成)	地震・津波により住宅に被害を受けた住民	2,807戸 (100%)
原発避難者向け	県主体 4,890戸	避難指示区域の住民(解除区域を除く)	4,767戸 (97%)
帰還者向け(①)	6町村 423戸	避難指示区域の住民(解除区域を含む)	343戸 (81%)
帰還者・新規転入者向け(②)	5市町村 157戸	・避難指示区域の住民(解除区域を含む) ・自主避難者 ・新規転入者	107戸 (68%)
子育て世帯向け(③)	1市 20戸	18歳未満の子育て世帯(自主避難者含む)	20戸 (100%)

### 復興公営住宅



牛越団地 集合住宅 4階建/176戸

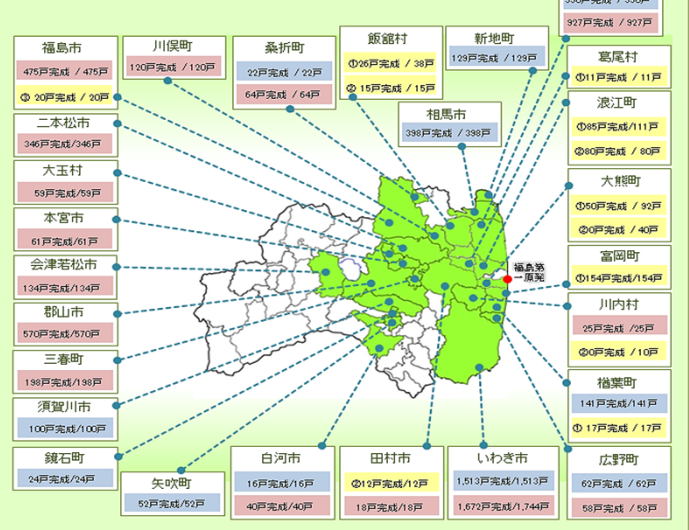


白虎2団地 戸建 2階建/全15戸

### 市町村別進捗内訳

原発避難者向けの住宅募集保留(地区未定):51戸

【令和元年5月末現在】



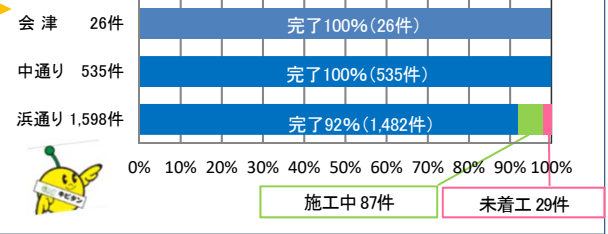
# インフラ復旧

## 災害復旧工事は98%着手～全体の94%が完了

### ◆公共土木施設等災害復旧工事の進捗 【平成31年2月28日現在】

公共土木施設 災害復旧工事箇所	査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数		完了見通し ※帰還困難 区域を除く
		着工率 (%)	完了率 (%)			
計	2,159	2,130	98%	2,043	94%	
河川・砂防	289	280	96%	258	89%	平成32年度
海岸	161	157	97%	134	83%	平成32年度
道路・橋梁	811	802	98%	792	97%	平成32年度
港湾	331	331	100%	331	100%	完了
漁港	470	463	98%	431	91%	平成32年度
下水	3	3	100%	3	100%	完了
公園・都市施設	5	5	100%	5	100%	完了
公営住宅	89	89	100%	89	100%	完了

被災した公共土木施設の98%で復旧工事に着手しており、全体の94%が完了しています。  
今後も津波被災地を中心に、復旧工事の早期完了と道路インフラ等の充実強化を図り、安全安心の確保に努めていきます。



### ◆避難指示区域内の進捗状況

避難指示解除準備区域及び居住制限区域は、既に災害査定が終了しています。帰還困難区域では、国が行う除染などと調整を図りながら進めていく予定です。

査定決定数 (箇所数)	着工 件数	着工率	完了 件数	完了率
373	344	92%	267	71%

### ◆災害復旧工事の様子

県道いわき石川線(才鉢工区)



浅見川防災緑地整備

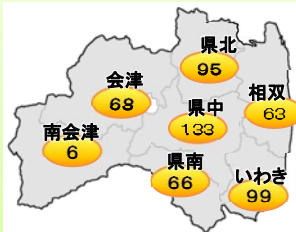


# 産業振興

## 企業立地補助金による支援等で工場の新増設が増加

### ◆企業立地の状況

ふくしま産業復興企業立地補助金 530社を指定



【平成30年10月22日現在】

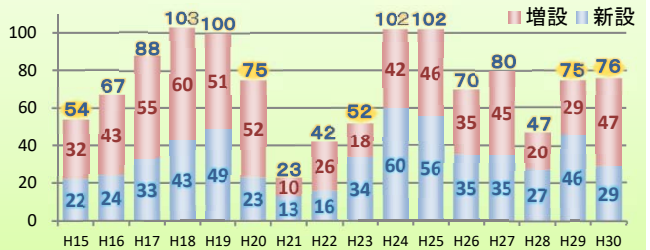
#### <指定を受けた主な業種>

- ・輸送用機械関連
- ・半導体関連
- ・医療福祉機器関連
- ・再エネ関連 等

6,924人の  
雇用創出見込み

### ◆福島県内の工場[敷地面積1,000㎡以上]新・増設状況

【県工業開発条例に基づく設置届出件数】

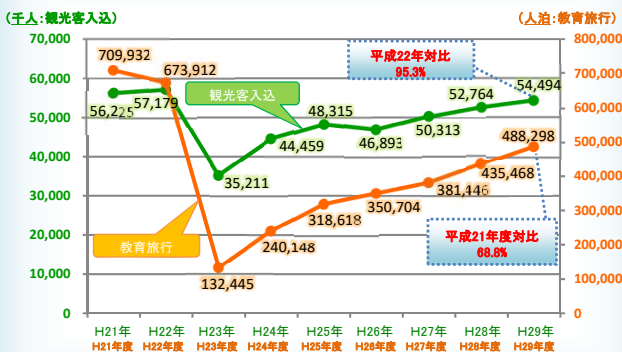


【出典】福島県商工労働部調べ

# 観光再生

## 観光再生に向けて～復興を国内外に発信

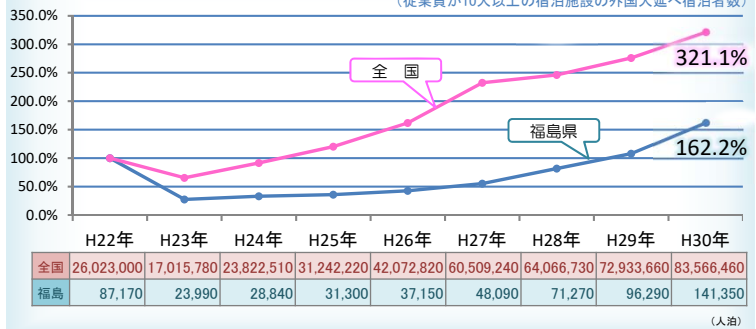
### ◆福島県観光客入込と教育旅行の状況



【出典】福島県観光交流課「福島県観光客入込状況」「福島県教育旅行入込調査報告書」

### ◆外国人延べ宿泊者数

【出典】観光庁 宿泊旅行統計調査 (従業員が10人以上の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数)



### 全国新酒鑑評会で史上初となる 金賞受賞数「7年連続日本一」達成！！

平成30酒造年度全国新酒鑑評会の審査結果が発表されました。全国から857銘柄が出品され、福島県の日本酒は、31銘柄が入賞、うち22銘柄が金賞に選ばれ、金賞受賞数で史上初の7年連続(通算9度目)の日本一に輝きました。



金賞受賞銘柄(順不同)	三春駒	佐藤酒造	三春町	大吟醸たのはな	喜多の華酒造場	喜多方市
銘柄	製造所	市町村	東奥国	豊国酒造	古殿町	國権
金水晶	金水晶酒造店	福島市	奥の松	東日本酒造協業組合	二本松市	開當山
寿々乃井	寿々乃井酒造店	天栄村	会津中野	鶴乃江酒造	会津若松市	田島
廣戸川	松崎酒造	天栄村	名倉山	名倉山酒造	会津若松市	福川
雪小町	遠辺酒造本店	郡山市	喜永殿大吟醸	末廣酒造喜永蔵	会津若松市	柴田町
さかみずき	たに川酒造	郡山市	會津宮家	宮泉銘醸	会津若松市	萬代方
あぶくま	玄葉本店	田村市	会津吉の川	吉の川酒造店	喜多方市	豊園酒造

### 東京2020オリンピック 聖火リレーは福島県からスタート/本県開催のソフトボールで開幕



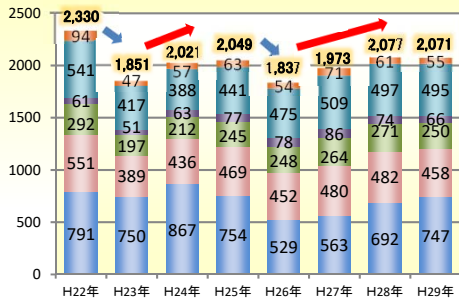
2020年3月26日にJヴィレッジ(楡葉町・広野町)を出発する東京2020オリンピック聖火リレーでは、28日までの3日間で25の市町村を通過するルート概要が発表され、県内59全ての市町村から、ゆかりのあるランナーが公募で選ばれます。  
また、あづま球場で、ソフトボールが2020年7月22日・23日の2日間で6試合、野球が7月29日に1試合行われ、特にソフトボールの開幕戦は、オリンピック全競技のスタートを飾る試合となります。

農業再生

コメの全量全袋検査や県産農林水産物のモニタリング検査等を通じて安全・安心な農林水産物を提供

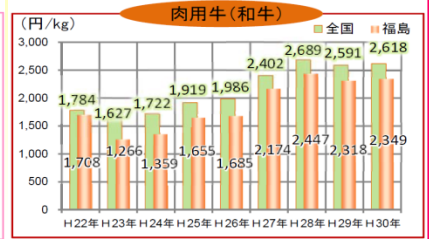
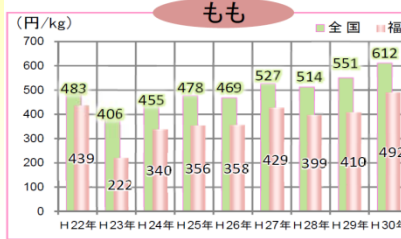
◆本県の農業産出額等の推移

(単位: 億円)



※ 項目毎の四捨五入により年計と年の各項目の総和は一致しない。  
 ※ 米について、H24年以降、作付面積、収穫量とも増加傾向にあるものの、H26年・H27年は全国的に米価が大きく下落し、本県の米の産出額も大幅に減少した。

◆福島県を代表する農畜産物の価格推移



◆農地の除染



【出典】東京都中央卸売市場ホームページ市場統計情報

◆野菜・果物、畜産物等の検査結果

【平成31年4月1日～令和元年5月31日】

種別	検査件数	基準値超過数	超過数割合
野菜・果実	386件	0件	0.00%
畜産物	667件	0件	0.00%
栽培山菜・きのこ	188件	0件	0.00%
海産魚介類	859件	0件	0.00%
内水面養殖魚	14件	0件	0.00%
野生山菜・きのこ	416件	0件	0.00%
河川・湖沼の魚類	232件	2件	0.86%

(国のガイドラインに基づき福島県が実施している検査)

◆米の全量全袋検査の結果 【平成30年8月21日～令和元年5月31日】

検査項目	検査点数	基準値超過数	超過数割合
玄米	約923万点	0件	0.00%

検査済みの県産米の玄米袋や小分けした精米袋に検査済みラベルを貼付しています。検査結果はホームページで確認できます。



福島イノベーション・コースト構想

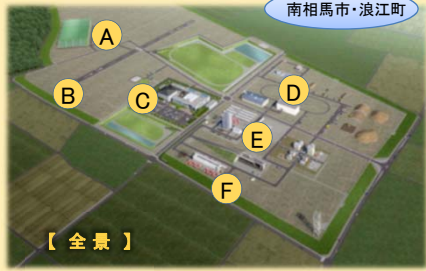
浜通り地域等の産業・雇用の回復を目指す国家プロジェクト

拠点の整備及び研究開発の推進

福島ロボットテストフィールド

陸・海・空のロボット・ドローンの研究開発、実証試験、性能評価、操縦訓練を行える、世界に類を見ない一大研究開発拠点。

南相馬市・浪江町



南相馬市・復興工業団地内の東西約1000m、南北約500mの敷地内に「無人航空機エリア」、「インフラ検・災害対応エリア」、「水中・水上ロボットエリア」、「開発基盤エリア」を設けるとともに、浪江町棚塩産業団地内に長距離飛行試験のための滑走路を整備します。

ロボットテストフィールド一部開所

ドローン用の滑走路として、飛行試験、操縦訓練に使用する施設が4月26日に開所しました。南相馬滑走路では飛行時の気象条件によって南北方向に離着陸の方向を選択することができます。



平時・災害時のプラントを再現し、点検、情報収集、機器操作に関する試験や操縦訓練を行う施設です。

産業集積の促進及び未来を担う教育・人材育成



生活環境の整備促進



来訪者の増大による地域への交流人口の拡大



多様な主体相互間の連携の強化



福島県企画調整部 復興・総合計画課  
 Tel 024-521-7109 E-mail sougoukeikaku@pref.fukushima.lg.jp

復興のあゆみ 全体版も是非ご覧ください

ふくしまの かわりやすい紹介 ふくしま復興のあゆみ 発刊中!

検索 ふくしま復興のあゆみ

震災・原子力災害復興情報は復興ステーションへ

ふくしま復興ステーション 復興情報ポータルサイト

検索 ふくしま復興ステーション